



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注 意

●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと、本体が落下するおそれがあります。

■取付け上のお願い

- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品の落下などの原因になります。
- ノンレールタイプの場合は、フリーピボット切替力セットのツメは外さないようにしてください。吊車のピボット固定ができなくなり開閉ができなくなるおそれがあります。
- 本体召合せ部品の中央部の取付位置は、隣り合う本体の段差が、目立つ位置に取付けてください。

■部品・部材の明細

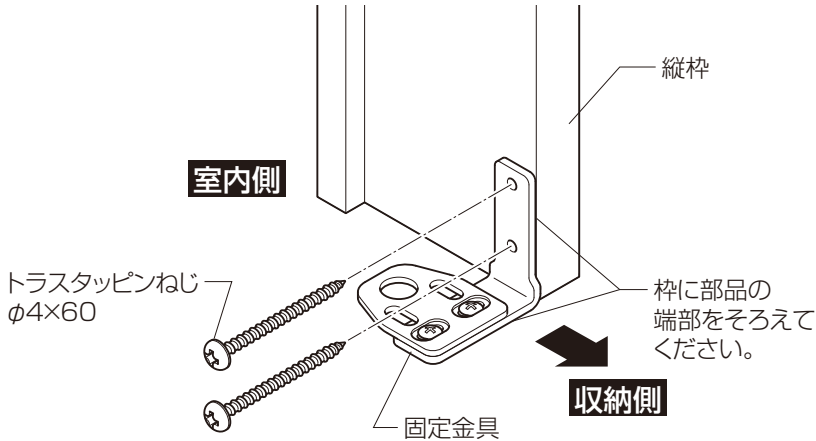
	固定金具 (L用)	固定金具 (R用)	固定金具 取付けねじ (トラスタッピン φ4×60)	戸先振れ止め部品 取付けねじ同梱 (トラスタッピン φ3.5×16)	召合せ部品	召合せ部品 取付けねじ同梱 (トラスタッピン φ3.5×16)	取付け説明書
1P用 (L用)	1	—	2	2	—	4	1
1P用 (R用)	—	1	2	2	—	4	—
2P用	1	1	4	—	2	4	—

■取付け順序

1 枠の組立て・取付け

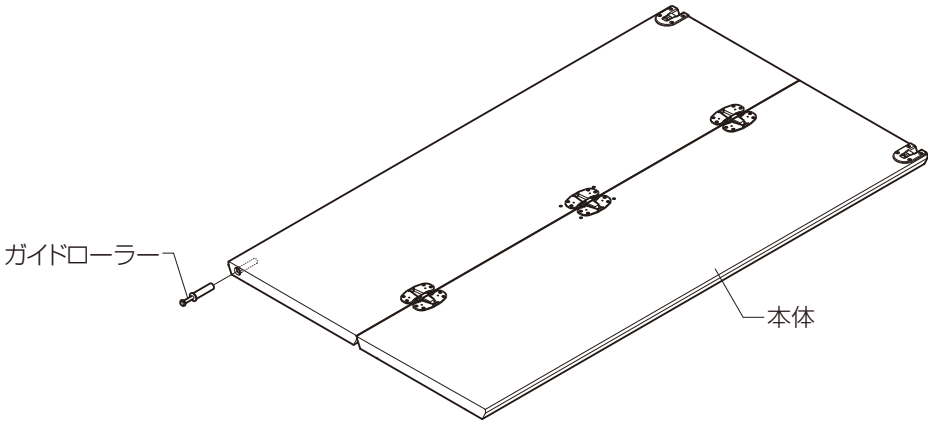
※枠の組立て・取付け方法は、枠に同梱の説明書を参照ください。

- ①縦枠と部品端部を揃える。
- ②φ 3 × 60 の下穴をあけてから、同梱のねじで固定してください。



2 本体付け部品の取付け

- ①ガイドローラーを左右どちらか一方の固定する側の本体下部の加工穴に圧入します。
- ※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。



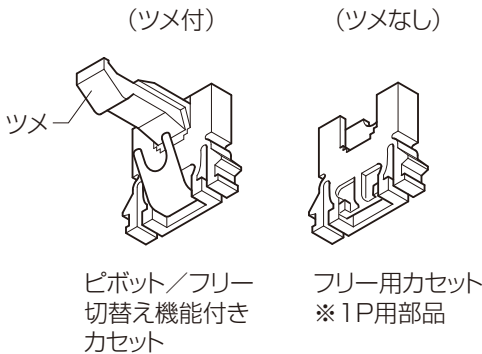
■吊元を決めてください（部品詳細は、枠同梱の取説をご参照ください）

● 1P の場合

ツメ付を吊元側に差込んでください。
戸先側はツメなしを差込んでください。

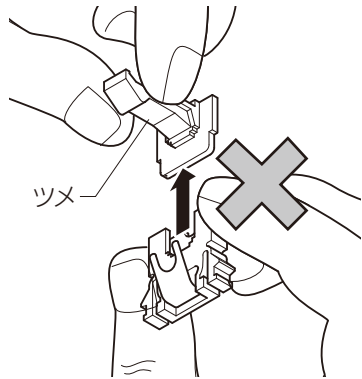
● 2P の場合

ツメ付を両方の吊元に差込んでください。



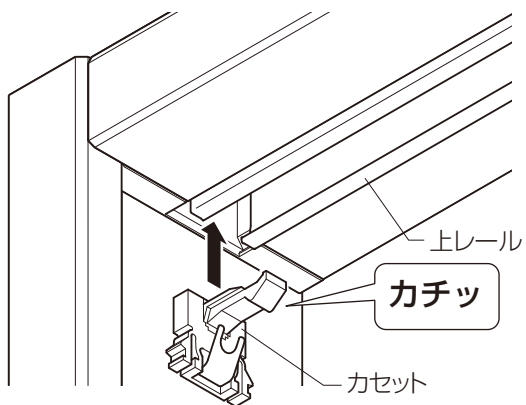
お願い

ノンレールタイプの場合は、フリーピボット切替力セットのツメは外さないようにしてください。吊車のピボット固定ができなくなり開閉ができなくなるおそれがあります。



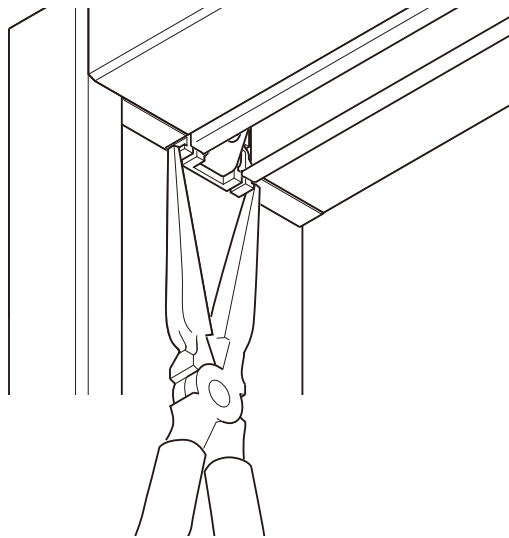
■ カセットの取付け

①カセットをレールとジョイントスペーサーの間にカチッとなるまで差込んでください。

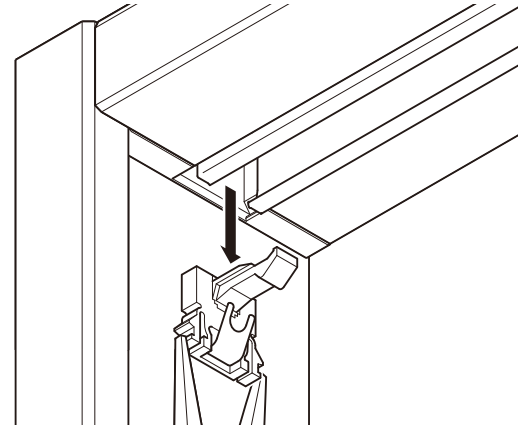


■ カセットの取り外し

①ペンチなどでカセットの端部をはさみ込みます。



②下方向へ引き抜きます。



フリー・ピボット
切替カセット
着脱方法動画

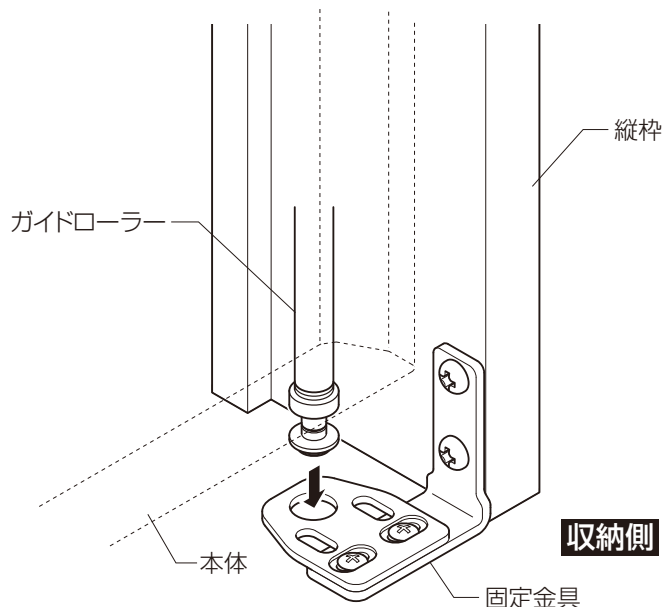


973347561002

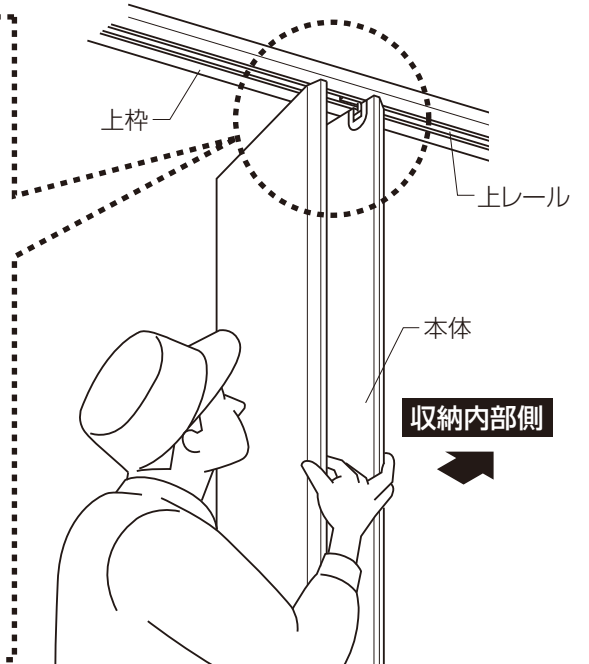
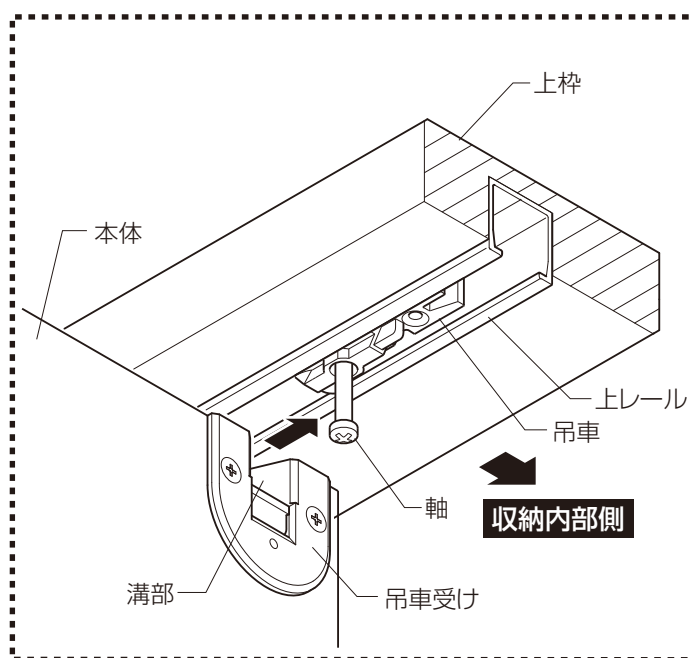
■ 本体の吊込み

② 本体の吊込み

①ガイドローラーを差込みます。



②本体上部の吊車受けの溝部に、上レールに取付けた吊車の軸を差込みます。

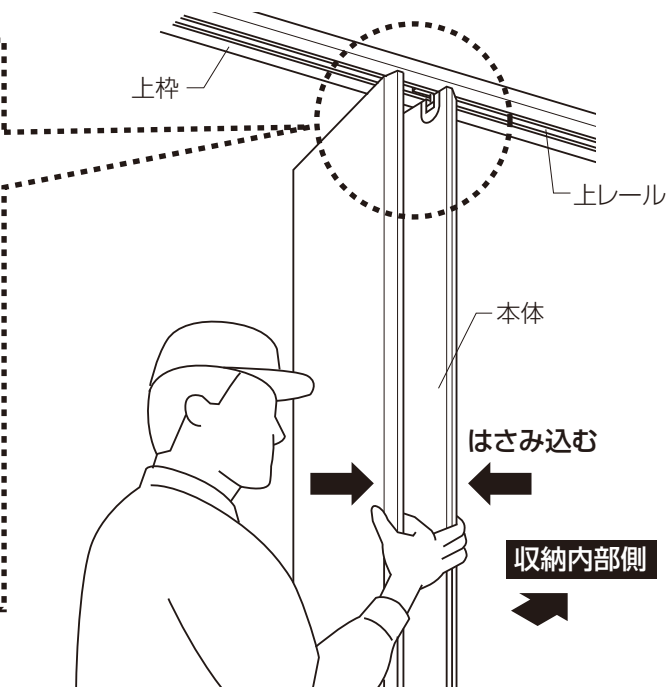
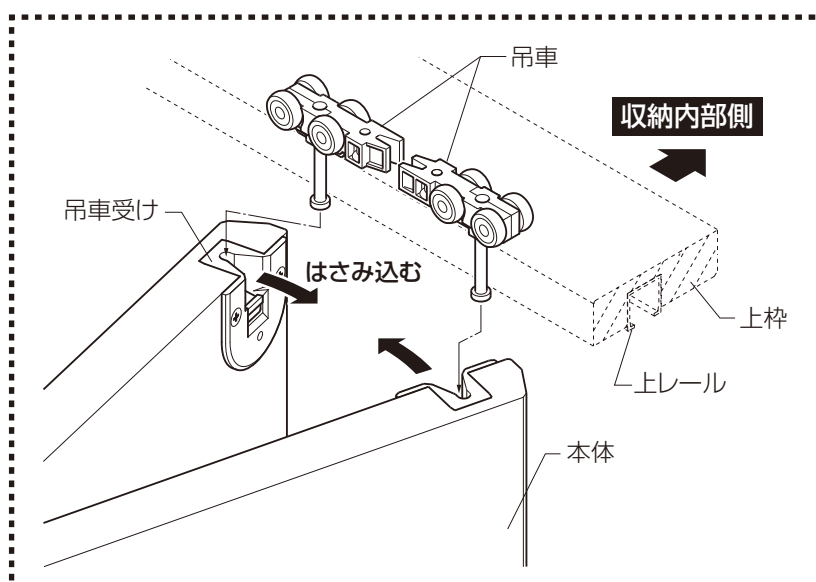


本体着脱方法
動画



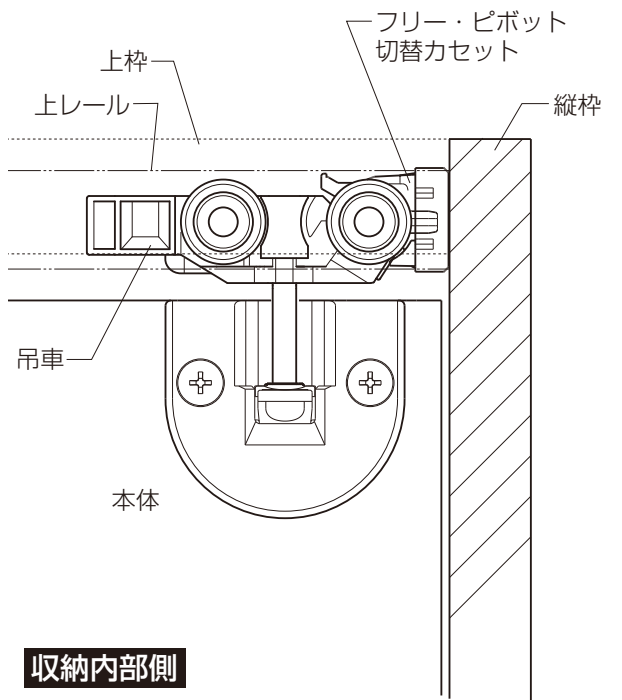
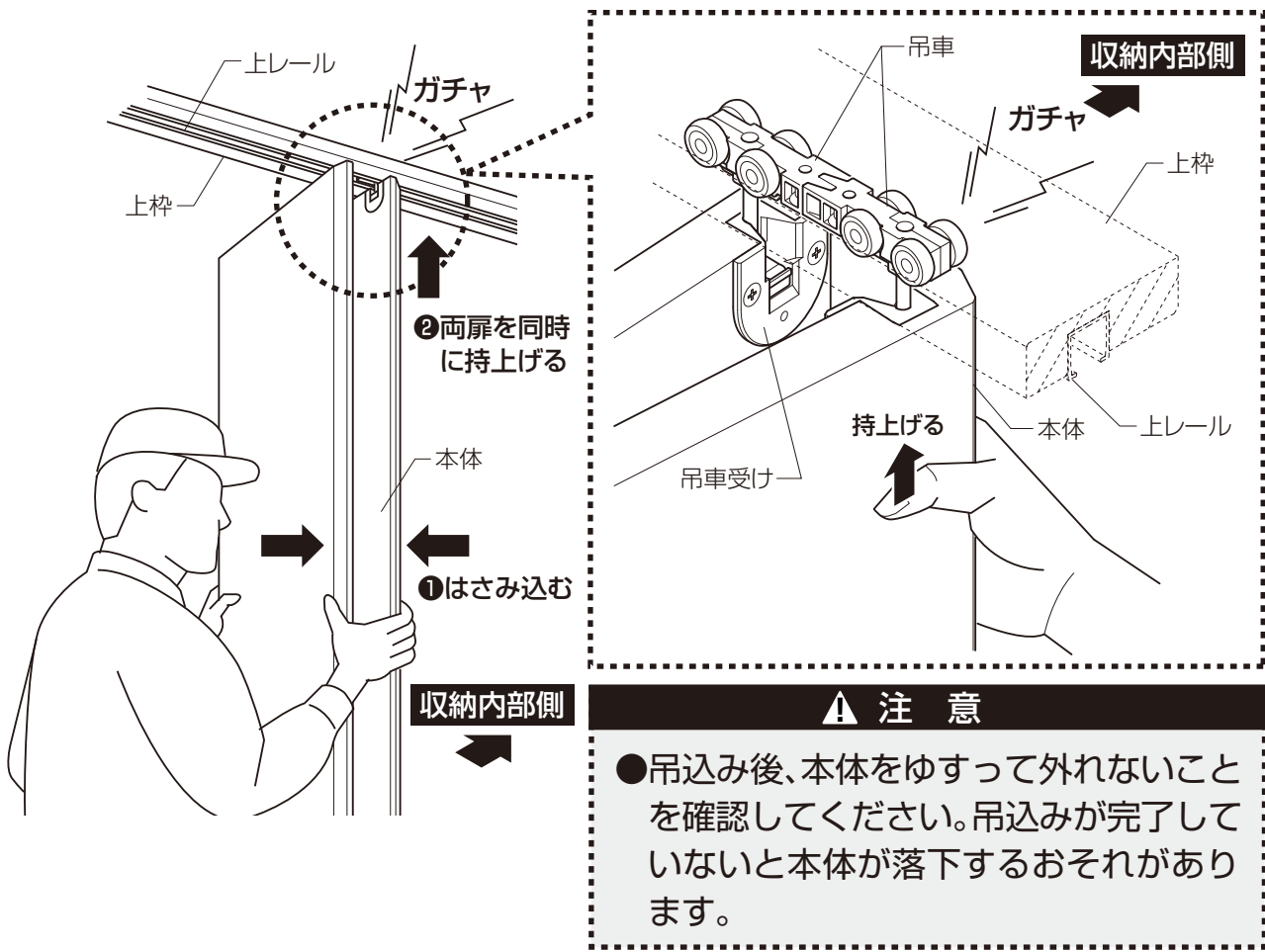
973347942002

③本体で左右からはさみ込むようにします。



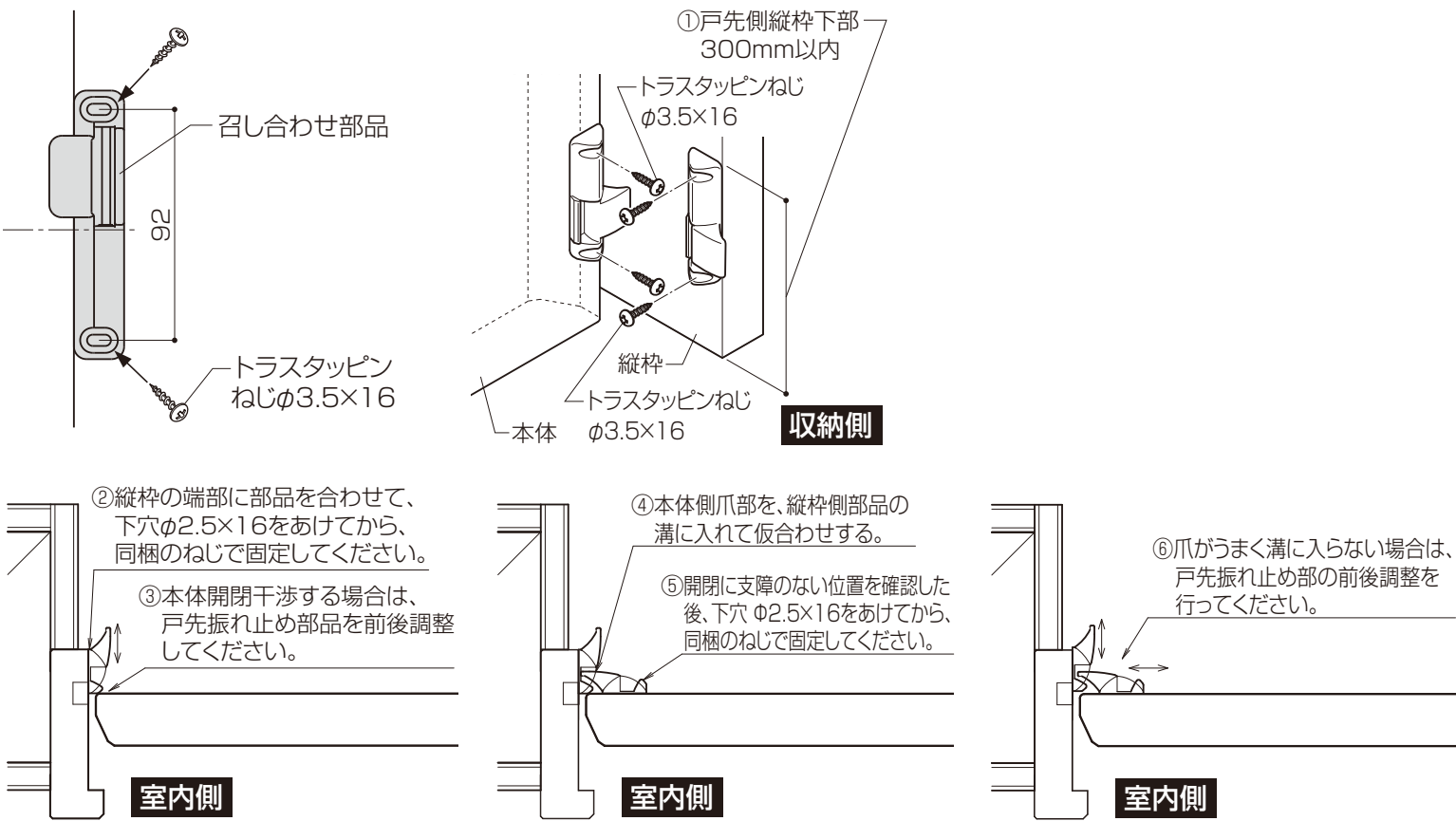
④本体をはさみ込んだまま、「ガチャ」と音がするまで上に持上げてください。吊車受けと吊車の軸が固定されます。

⑤本体の上部を固定します。



■戸先振れ止め部品の取付け（1P 仕様の場合）

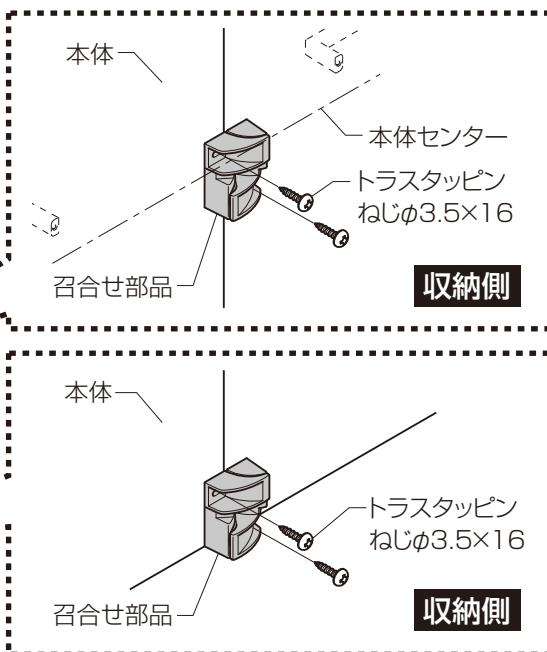
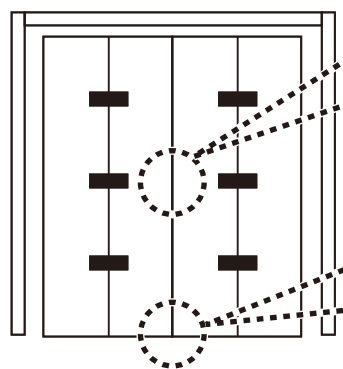
●本体下部と戸先側縦枠下部に、戸先振れ止め部品を取付けてください。



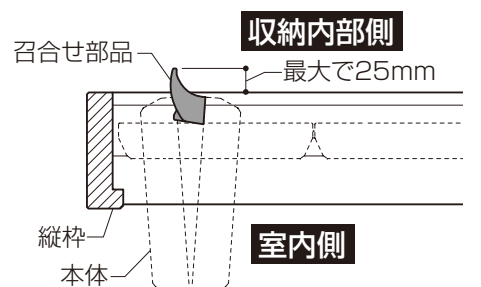
■召合せ部品の取付け（2P 仕様の場合）

●本体下部と中央部に召合せ部品を取付けます。
※下図の取付け寸法を目安とし、下穴φ2.5×16をあけ同梱の取付けねじで取付けてください。
※召合せ部品は、枠梱包とノンレール部品セットにそれぞれ1組ずつ同梱しています。

お願い
※中央部の取付け位置は、隣り合う本体の段差が目立つ位置に取付けてください。



【納まりについて】※1P・2P仕様共通
本体裏側の召合せ部品は、枠端部から最大で25mmはみ出します。
収納内部側に棚や収納部材を配置する場合は枠から25mm以上離し、召合せ部品と干渉しないようにしてください。

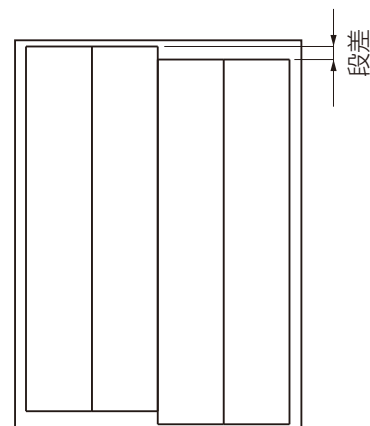
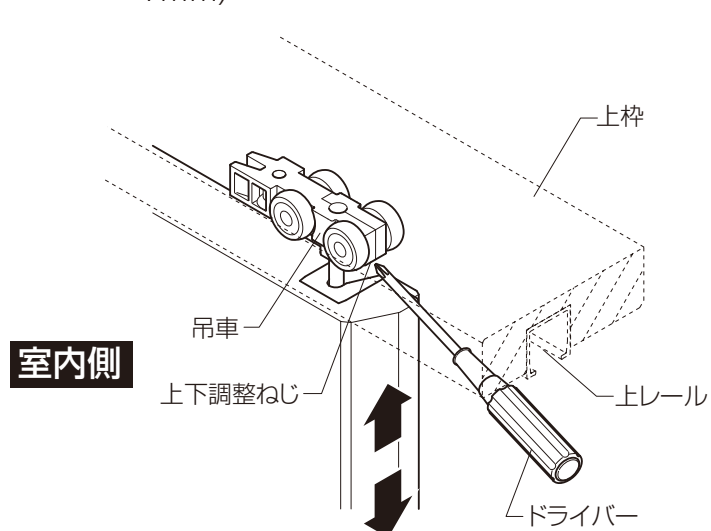


■調整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

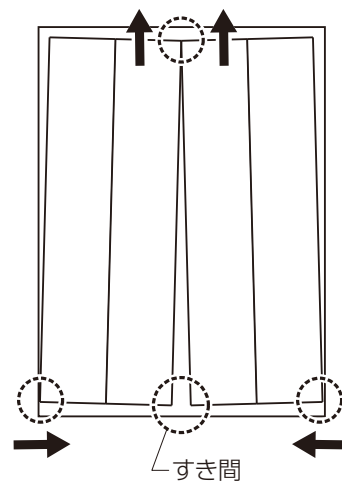
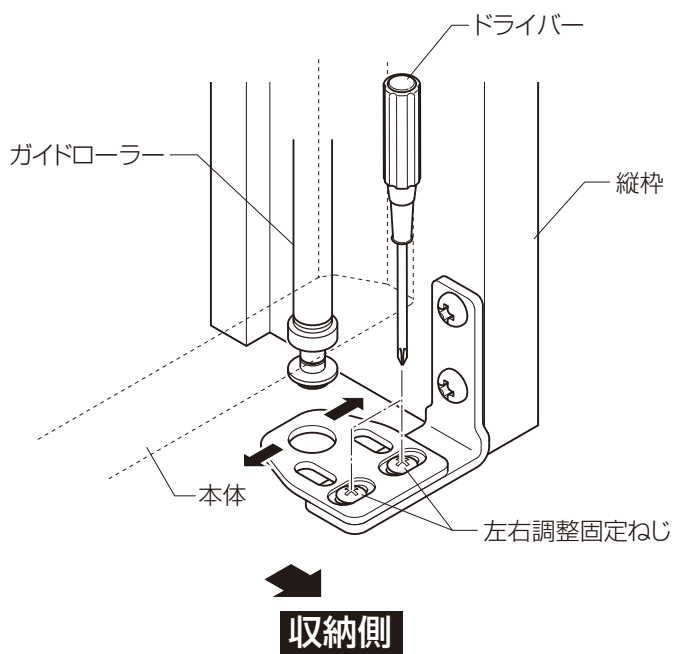
【段違い(上・下)の調整】

- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
(上下調整量+5mm
-1mm)



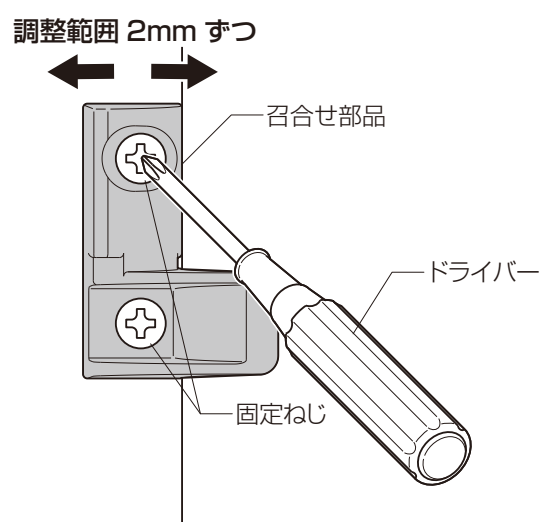
【本体同士のすき間の調整】

- 本体同士のすき間が大きい場合、吊車上下調整及び、固定金具の左右調整ねじをドライバーでゆるめ、位置調整後に固定してください。(左右調整量±3mm)



【召合せ部品の調整】

- 固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。



【戸先振れ止め部品の調整】

- 固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。

